

埼玉連理 第 20 号
令和 7 年 8 月 8 日

一般社団法人埼玉県弓道連盟
専門委員長各位
支部長各位
連盟責任者各位

一般社団法人埼玉県弓道連盟
会 長 本 橋 民 夫
(公印省略)

埼玉県弓道連盟内の各組織における
ガバナンスの強化及びコンプライアンスの徹底について

時下 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本連盟は令和 5 年度 1 月 6 日付埼玉連理第 47 号で「埼玉県弓道連盟、各支部・各連盟におけるガバナンスの強化及びコンプライアンスの徹底について」を各支部・各連盟にお送りし、その活動においてのガバナンスの強化、コンプライアンスの徹底に関して一層のご努力をお願いしてまいりました。

しかしながら一般社会では組織内の大きなガバナンス違反は少なくなったものの、依然として「組織的な問題に起因するハラスメント問題」「安易なオンラインカジノの利用」等の問題が頻繁に起こっております。直近の事例では、プロ競技団体内での指導者による暴言・パワハラが発生し、当該指導者は 3 か月の謹慎と懲戒に処せられています。こうした事案は他団体のこととして看過すべきものではありません。

＊どのスポーツでも「適切なコーチング・役員からの指示指導」と「ハラスメント」との境界線は極めて曖昧ですが、どのような場面であっても選手の（会員の）尊厳や心理的安全・安定を損なう手法は許されません

本連盟としても改めて会員の皆様にガバナンスの強化・コンプライアンスの徹底についての共通認識を持っていただきたく改めて下記をお願いを行います。

記

1 ガバナンスの強化について

- ① 責任者は、専門委員会にあっては会長・副会長・専務理事等の本連盟役員と、支部にあっては本連盟と、連盟にあっては所属支部と常に密接な連携を保ち、その運営にあたること
- ② 埼玉連等からの文書については各会員への周知を徹底すること
- ③ 団体としての責任を果たすべく、
 - ・支部・連盟にあっては会則等を整備し、運営は会員の合意を持って行うこと
 - ・その決定事項は、法令・条例に反しないことはもとより、社会通念上求められる「常識」を逸脱しないこと

- ・組織運営上の取り組みは必ず複数名の協議を経て行うこと
 - ・業務上のメールなどは必ず（CC 等で）複数名で共有すること
 - ＊組織運営上（業務上）行われることは、「個人的な意見の表明」であっても「組織の意思」として残るものである
- ④ 決定事項は記録に残し、会員の閲覧に供されること

2 コンプライアンスの徹底について

- ① すべての会員が、充実した弓道人生を送るためにはコンプライアンスの徹底が欠かせないことを自覚すること
- ② すべての会員が、法令順守を徹底すること
- ③ すべての会員が、いかなるハラスメントも許さないことを肝に銘じ行動すること
- ④ 組織内では各自が任せられた役割を果たすとともに、コンプライアンスの徹底にあたってはその役割を超えた協力を行うこと
- ＊組織内で称号・段位に応じて求められる役割を果たすことは当然であるが、コンプライアンスの徹底においては称号・段位によつての差はない
- ⑤ コンプライアンスの徹底に関するすべての事案は、組織内の相談と合意によって解決すること
- ＊支部・連盟においては今後、「コンプライアンス担当」を設置し、会員会らの相談に対応し、本連盟担当者との連絡窓口となることも検討していただきたい

本連盟では倫理規定・懲戒規程等、ガバナンスの強化・コンプライアンスの徹底に必要な規程を整備しています。本連盟ホームページをご覧ください（「埼玉県弓道連盟」で検索できます）。

なお、本連盟に対しての相談が必要な事案につきましては、埼弓連事務所（旧 IT 事務所）に「通報相談」としてご連絡ください。「通報相談」は記録に残すため、電話ではなくメールまたは FAX でお送りください。「通報相談」は匿名でも行えます。

お送りいただいた「通報相談」については、倫理規定・懲戒規程に基づき必要に応じて倫理委員会で調査を行い、本連盟としての措置をとることになっています。

埼弓連事務所（旧 IT 事務所）

FAX : 048-825-8163

メールアドレス : saitamaken@kyudo.jp

今後とも、専門委員長の先生方、支部長の先生方、各連盟責任者の皆様、会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

以上